

郡上市立明宝中学校

活動の種類 (複数回答可)	健康・安全 (奉仕) 国際理解・親善 (その他) (地域から学ぶ活動)
活動の単位	(全校) (学年) 委員会 クラブ その他 ()
教育課程上の 主な位置づけ	教科 道徳 特別活動 (総合的な学習) (児童会・生徒会活動) 委員会・部活動 (学校行事) その他 ()

1. 活動テーマ

ふるさとを愛し、自他の生徒を大切に作る学校づくり

2. 学校紹介

本校は郡上市の北東部に位置し、7つの地域、人口1,900人弱からなる校区で、豊かな歴史や文化が残る山紫水明の地にある。全校生徒数70人、学級数3学級の小規模校で、生徒の9割がバスで通学する広域な地域の中央部に位置している。

学校の教育目標「ふるさとを愛し、自他の命を大切に作る生徒」のもと、3つの命（「かけがえない命」「支え合う命」「輝く命」）の具現化に向けて、命（人権）教育とふるさと教育を核として、保護者や地域との協働・連携を大切に取り組んでいる。

3. 活動内容

(1) 生徒会の取組

明宝中生徒心得『磨墨宣言』を柱に、人権意識の高揚を図り、誰もが安心して自分のよさを発揮し楽しく生活できる学校をめざした活動（挨拶運動、仲間のよさ見つけ、人権集会）を展開している。

①ハイタッチ挨拶運動・・・「かけがえない命・支え合う命」

生徒会役員が毎朝当番を決め、校門や生徒玄関で挨拶運動を行っている。生徒会長の提案で前期途中からハイタッチを取り入れた。11月の地域青少年育成組織の挨拶運動でも地域の方とハイタッチをしながら挨拶をする姿が見られた。

②よさ見つけ・・・「輝く命・支え合う命」

全校生徒が学級や他学年の仲間の良い所とその行為を見て感じたことをカードに書き、廊下に掲示した。そして生徒集会で、カードの一部を紹介し、代表者に手渡した。

③人権集会（年2回実施）・・・「かけがえない命」

人権アンケートをもとに、いじめや仲間関係について、縦割りグループや学級に分かれ意見交流会を行った。全体会では交流会の内容を代表が発表をし、人の見方や接し方を見直した。その後、全生徒が人権標語を作成した。



あいさつ運動の様子



よさ見つけカードの伝達



人権集会 縦割りの意見交流

(2) 保護者との連携を大切にした取組

①親子奉仕活動(年2回)・・・「支え合う命」

保護者とともに働くことを通して、感謝の気持ちや奉仕の精神を培うことをねらいとして、全校の生徒と保護者による環境整備を行った。保護者は学校敷地内外の草刈りや校舎内の高い所、危険な場所の清掃を、生徒は校庭の草抜きやガラス拭きなどを担当した。

②親子で学ぶ人権講演会・・・「かけがえのない命」

県人権懇話会会長の藤田敬一氏を招いて、「よりよく生き合おう～人権を考えるために～」を演題に講演会を実施した。保護者に学校の大切にしてことを理解してもらうとともに、生徒と保護者が自分の生き方や人権感覚を見つめるよい機会になった。

(3) 地域との連携を大切にした取組・・・「支え合う命」

①明宝ふるさと元気づくりサポーターの任命と2年聞き書き学習

今年度初めて、公民館から全校生徒が「明宝ふるさと元気づくりサポーター」に任命された。地域振興事務所との協働により、高齢者を招いて、地域の昔を掘り起こす「聞き書き」を2年の総合的な学習の時間で実施した。岐阜県立森林文化アカデミーの指導・援助や地域組織の協力を得て一冊の本に作品化した。また12月には、『めいほうフェスティバル』で発表した。

②地域の特性を生かした、地域から学ぶ活動

学校教育に協力的な地域のよさを生かし、総合的な学習の時間や学校行事などで地域の方に講師をお願いしたり、地域の施設を活用したりした。生徒が地域の方に感謝する気持ちをもつとともに、ふるさとへの愛着心をもつことにつながっている。

全校・・・スキー場清掃、スキー・夏の福祉ボランティア(希望者)
 デイサービスセンター訪問、スノーボード教室

1年・・・小川宿泊研修(地域の方との交流会、林業体験、山菜採集など)、磨墨太鼓学習

2年・・・聞き書き学習、勤労体験学習(地元の事業所など)

3年・・・赤ちゃんふれあい体験、保育実習



ここがポイント	小規模校である特性と地域の協力性を生かした「命(人権)の教育」や「ふるさと教育」を核にすることにより、3つの命(「かけがえのない命」「支え合う命」「輝く命」)の具現化を図る。
ここがねらい	「命(人権)の教育」「ふるさと教育」を推進することにより、自他の命を大切にする豊かな心情と行動力を育てる。また体験を通して、地域への愛着を高め、積極的に地域に働きかけていく生徒を育てる。
効 果	全生徒が「明宝ふるさと元気づくりサポーター」に任命されたことも影響し、地域と協働した取組や地域行事に参加することが増えた。学校の教育を発信するよい機会になるとともに、生徒に自信がついてきている。
学校等のコメント	地域の方の積極的な支援により、生徒は地域を愛し発展しようとする人の生き方に触れ、ふるさと明宝に自信と誇りをもつことができた。保護者・地域と連携した命(人権)を大切にした教育活動を今後も推進したい。

担当者氏名： 梅田 貴昭